

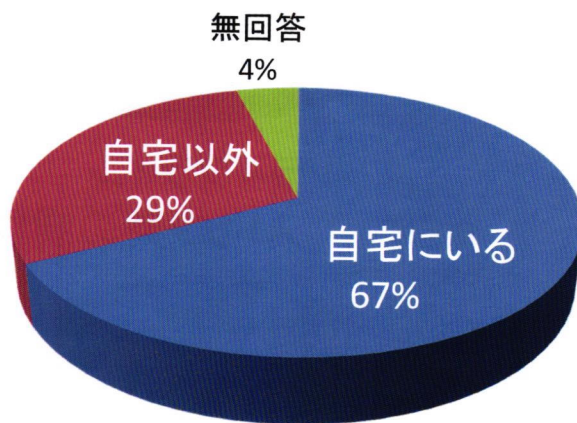


「防災アンケート調査」 の集計報告

特集号

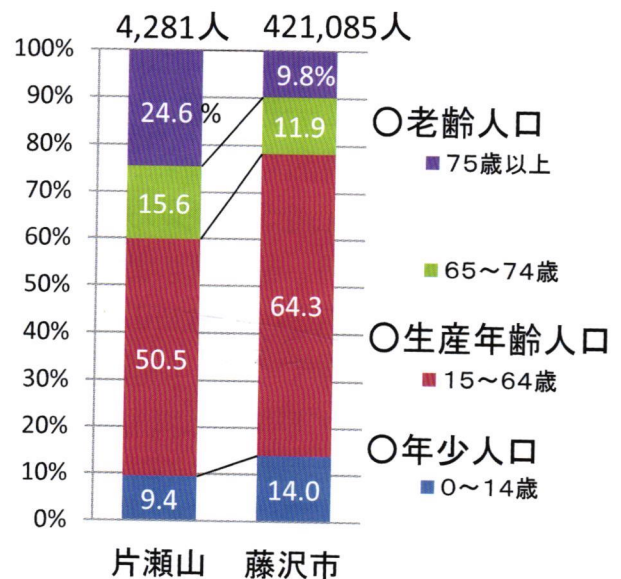
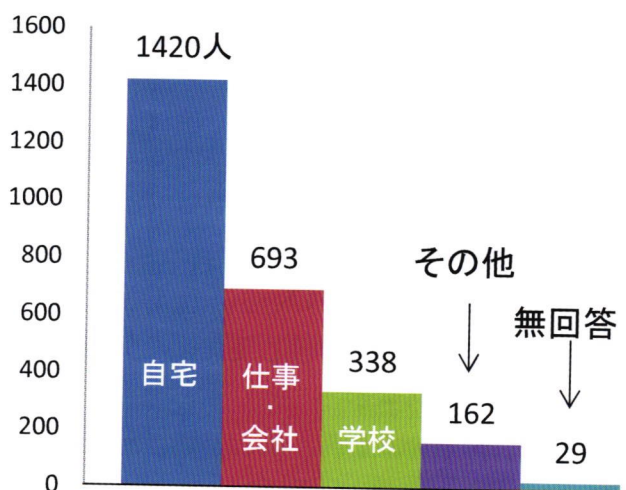
昨年12月避難訓練の一環として行ったアンケート調査の集計結果をお知らせ致します。
皆さまのご協力ありがとうございました。
(回答数:1,101世帯 回収率70.8%)

大規模地震が発生した時 どこにいますか？

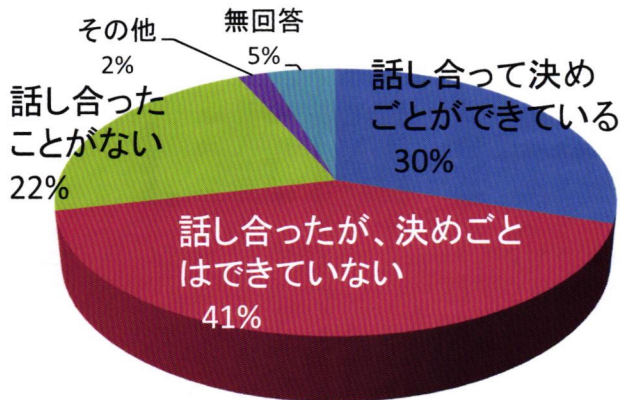


平日の昼間発災時に、
片瀬山では1,500人程度の住民がおり、
片瀬中学校生徒を含めると、凡そ2,000名以上が片瀬山にいるものと想定されます。

＜参考＞ 年齢別人口比率
(2013.10.1)

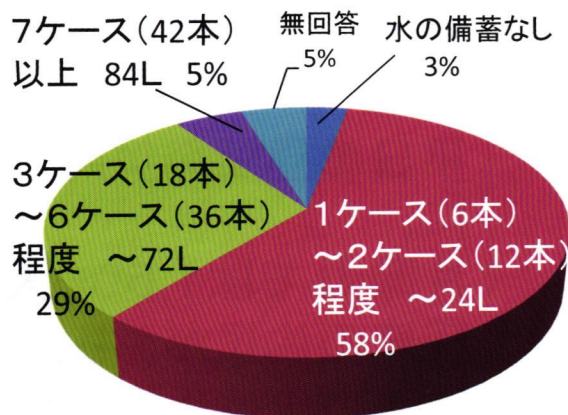


被災時の家族の取り決め

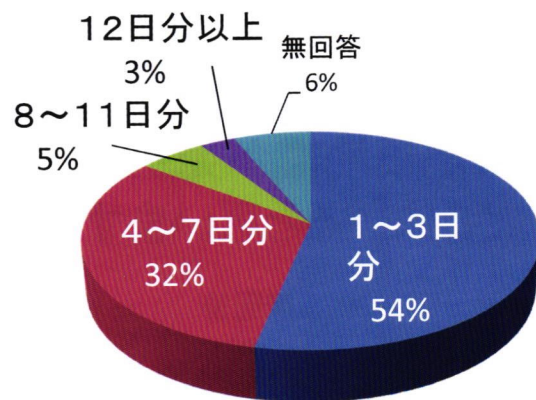


家族間の連絡方法、避難経路や落ち合う場所などについて、家族で話し合ったことがある人が7割以上いますが、家族で決めごとをしている世帯はそれほど多くありません。

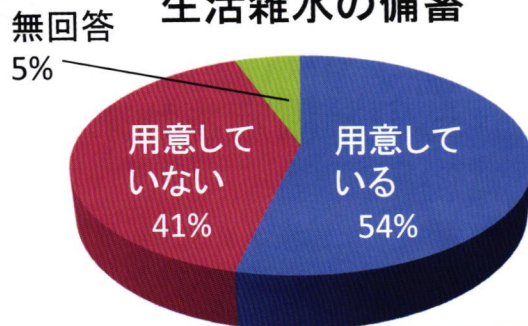
飲料水の備蓄量



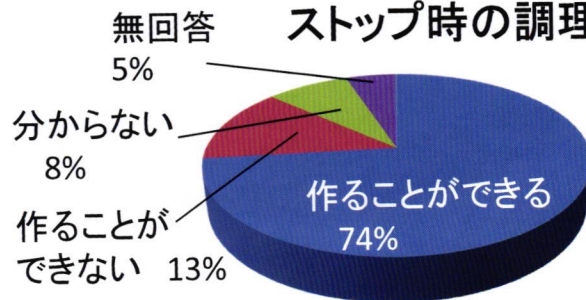
何日分の食料があるか



生活雑水の備蓄



ライフラインストップ時の調理



ほとんどの人が、水や食料の備蓄を必要だと思われていて、水や食料の備蓄が行われています。しかし一週間以上となると、その量はまだ不十分です。

買い足し方法の検討をするなど、あとひと踏ん張りです。頑張りましょう。

★耐震診断に感心をお持ちの方(昭和56年以前に建てたお家:48%)

簡易診断(無料)、専門家の診断や耐震工事の補助制度があります。

事前に、藤沢市(27-211)の建築指導課へ問い合わせください。

★調理に自信が無い方は、防災会の“避難訓練”や自治会が開催している“夕涼み会”等 に行ってみてください。ヒントが得られる事と思います。

編集後記: M7クラスの地震が30年以内に起きる確率が70%、家庭備蓄量1週間分以上と言われてます。平常時の準備を。



発行: 片瀬山防災会

連絡先: メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者: 会長(鶴岡) 編集責任者: 広報(川副)